

## 第12回 モビリティ・イノベーション連絡会議 議事概要

1 日時：令和4年3月8日（火）10:00～12:00

2 場所：オンライン・東大生産技術研究所

### 3 出席者

構成員 対面参加：

東京大学 モビリティ・イノベーション連携研究機構 須田教授・鈴木(彰)准教授・霜野特任助教・梅田特任研究員

WEB参加：

金沢大学 山脇特任教授（代理）、慶應義塾大学 川嶋名誉教授・重野教授、埼玉工業大学 渡部教授、筑波大学 伊藤教授、東北大学 鈴木(高)教授、同志社大学 三好教授、日本大学 栗谷川教授・石橋教授、明治大学 中山教授、横浜国立大学 有吉特任准教授、法政大学 糸久准教授・今井教授、香川大学 紀伊教授、名古屋大学大学院 倉地特任准教授、東京大学大学院 佐倉教授、中央大学 中村教授、広島大学大学院 藤原教授、早稲田大学 森本教授、産業技術総合研究所ヒューマンモビリティ研究センター 北崎センター長・加藤首席研究員、一般財団法人日本自動車研究所 内田副部長、交通安全環境研究所 河合部長、理化学研究所 革新知能統合研究センター 中川チームリーダー、東京大学 モビリティ・イノベーション連携研究機構 大口教授・中野教授・内村特任研究員、長谷川特任研究員

オブザーバー WEB参加：内閣府 福島参事官・平岡氏・杉山氏

新エネルギー・産業技術総合開発機構 田中氏・池田氏・舟橋氏・宇木氏

事務局支援 対面参加：社会システム株式会社（東野氏、金子氏）

### 4 議事概要

#### （1）須田機構長挨拶

#### （2）前回議事概要の確認

・資料1について説明し、承認された。

#### （3）SIP-adus 社会インパクト評価取組状況報告

・資料2について説明。

##### （資料2 主な議事）

・意見なし

#### （4）モビリティを活用したビジネスイノベーションコンテストについて

・資料3について説明。

##### （資料3 主な議事）

・検討中のコンテストの表彰に係る情報や学生の起業支援の可能性をお聞きたい。

・協賛企業を募集し、協賛企業の名前を冠した賞の創設を予定している。また、ベンチャー支援に取り組まれている方に協賛企業として参加していただき、まずはベンチャー支援に関わる方と学生を繋ぎ、コンテストを継続する中で、起業支援に発展させることを考えている。

- ・「既存の 4 輪車の自動運転に限らないが、地面を走る移動体とする」との条件では、対象が限定的であり、交通システム全体を総合的に捉えたあるべき姿、最適化の観点からの提案がされないのではないか。
- ・地面を走る移動体を主な対象として、その他の移動体との関係も提案として認めるという趣旨が伝わるよう修正する。
- ・空飛ぶクルマという概念との関係は、どのように考えているのか。
- ・第 1 回は、SIP-adus や社会インパクトプロジェクトとの関係から、地面を走る自動運転車を中心としたビジネスプランを提案してもらうこととしている。コンテストを継続する中で、空飛ぶクルマ等にも対象を広げていくことを想定している。
- ・提案の対象とする自動運転車は人流と物流どちらを対象とするのか。
- ・人流・物流ともに対象であり、人流や物流の概念を超えたものも提案して良いことを追記する。
- ・自動運転はどのレベルを想定するのかなどのイメージを与えないと提案は難しいのではないかと。一方で、イメージを与えることでアイデアの視点が狭くなる可能性もあるが、どのようにコンテストを進めるのか。
- ・現在考えられている概念やレベルの定義を伝えてしまうと、アイデアが広がらないことが懸念されるため、双方向型の議論イベントを通して、概念を一緒に作っていきたいと考えている。

#### **(5) SIP-adus 国際連携状況報告**

- ・資料 4 について説明
- (主な議事)**
- ・意見なし

#### **(6) RoAD to the L4 テーマ 4 の進捗報告**

- ・資料 5 について説明
- (主な議事)**
- ・路車間の情報統合に関する通信は、インターネットを経由することを想定しているのか。
- ・データ提携サーバの間では一部インターネットを介することとなる。時間遅れについて精査が必要であることをテーマ 4 の分科会でも指摘を受けている。
- ・信号機周辺の人の動きは刻々と変化するため、路車間通信が正しくできるよう設計できることが大切である。

#### **(7) SIP 第 3 期 RFI への対応状況**

- ・資料 6 について説明
- (主な議事)**
- ・意見なし

#### **(8) 2023 年度以降の活動継続に向けて**

- ・資料 7 について説明
- (主な議事)**
- ・本活動はぜひ進めていただき、SIP-adus Workshop にも共催として入っていただきたい。
- ・2022 年度は SIP の事業としてモビリティ・イノベーション連絡会議 (MI 連絡会議) を継続して開催するが、2023 年度以降に向けた円滑な引き継ぎを行うため、2022 年に設立予定の一般社団法人も 2022 年度から MI 連絡会議に関わっていく予定である。

### **(9) 研究者データベースについて**

- ・資料 8 について説明

#### **(主な議事)**

- ・自動運転研究者 DB 拡充に向けては、2019 年に登録いただいた研究者の各所属機関等に対し、各研究者へ連絡する旨、事前に確認の連絡をしていただくとともに、研究者への連絡の際には、DB への登録することのメリットを伝えられるとよい。
- ・2019 年に登録いただいた研究者へ直接連絡を取ることは控えていただきたい。
- ・連絡の文面案を MI 連絡会議構成員に確認いただいたうえで、研究者へ展開したい。

### **(10) MI 連絡会議 web ページの運用**

- ・資料 9 について説明

#### **(主な議事)**

- ・意見なし

### **(11) メンバーからの情報提供**

- ・各イベント開催等について、情報共有があった。

### **(12) 来年度スケジュール 他**

- ・次年度は本会議の最終年度として年 3 回の開催を予定。

以上